

# 第94回（令和3年度）全国安全週間

## 持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場

期 間 本週間 7月1日から7日 準備期間 6月1日から6月30日

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界における自主的な労働災害防止活動を推進するとともに、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、本年で94回目を迎えます。

この間に労使が協調して労働災害防止対策を展開された結果、労働災害は長期的には減少してきました。令和2年の広島県内の労働災害による死亡者は14人と過去最少を記録しましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、休業4日以上の死傷者数は3,245人と前年より26人増加しました。

このような状況の中で労働災害を減少させるためには、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会情勢の変化等に対応して、将来を見据えた持続可能な安全管理を継続して実施していく必要があります。

このような状況の中、労働災害の減少を図ることを決意して、令和3年度全国安全週間は、「持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場」をスローガンとして展開します。

この全国安全週間を契機として、労働災害防止の重要性について認識をさらに深め、安全活動を着実に実行することが必要です。

事業場の皆様は、安全文化を醸成するため全国安全週間及び準備期間中に次の事項を実施してください。

- 1 安全広報資料等の作成、配布を行う。
- 2 様々な広報媒体を通じて広報を行う。
- 3 安全パトロール等を実施する。
- 4 安全講習会、事業者間で意見交換・好事例の情報交換を行うワークショップ等を開催する。
- 5 安全衛生に係る表彰を行う。
- 6 「国民安全の日」（7月1日）の行事に協力する。
- 7 事業場の実施事項について指導援助する。
- 8 その他「全国安全週間」にふさわしい行事等を行う。



日本一働きやすい広島を目指して